

基本情報						
教科・科目	K1 数学A(基礎)		・授業で使用するもの 教科書) 数学A Standard、数学 I Standard 問題集) 数学+A WIDE 授業プリントを使用します。整理して取っておくこと。 取り組みのフィードバック、資料の共有のためにiPad を使う場合がある。			
担当者	岩本					
評価割合(試験:試験外)	試験 :6 試験外 :4		試験外評価は、単元ごと的小テストと再テスト、授業中や家庭学習の取り組みを評価する。			
年間を通じて教科で培う力	鍛錬(知識及び技能)		順列や組合せの場合の数を計算できる。 関係式が作れる。命題が述べられる。 図形に関する用語を習得し、図に書き表すことができる。			
	理解(思考力・判断力・表現力等)		場合の数や確率を計算する際に、重複や漏れがないように立式できる。 問題文からどんな数学的性質を用いればよいか、読み取れることができる。 目的に応じて、立式や式変形ができる。			
	探究・観智(主体的に学習に取り組む態度)		間違えた問題に対して、粘り強く取り組み、解答にたどり着くことができる。 自分が理解できていない内容を分析して、解決できるまで取り組むことができる。			
学習情報						
月	回	単元名	単元目標(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4 5	9	集合の要素の個数 樹形図と場合の数 順列 組合せ	・規則的に数え上げることで、様々な並び方や 選び方の総数を計算することができるようになる。	・数え上げの方法を再確認する中で、順列や組合せの 計算方法の良さを学び、事象に沿った場合の数の 求め方を判断する。 ・複雑な事象では図や表を用いて数え上げることが 有用であることを理解する。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリン トへの取り組み
5	6	事象と確率 確率の基本性質	・確率を、定義や「同様に確からしい」ことにし たがって正しく計算することができるようになる。	・文章を読み解く中で、問題の要所を切り取る練習を 行う。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリン トへの取り組み
6	定期試験① 令和7年 6月2日—6月4日					
6	6	独立な試行の確率 反復試行の確率 条件付き確率	・反復試行において、復元抽出や非復元抽出 を意識し、ある事象が起こる確率を正しく 計算することができるようになる。 ・条件付き確率と積事象の確率を、事象の独立 性に着目して計算することができるようになる。	・反復試行の確率や条件付き確率の意味を正しく理 解し、計算する練習を行う。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリン トへの取り組み
6 7	4	【ここからは復習】 集合 命題と条件 論証	・集合の性質を知り、適切な表し方で表現す ることができるようになる。 ・命題の意味を理解し、文章→集合へと変換 することができるようになる。 ・真偽を見極め、どの条件にあてはまるかを 答えることができるようになる。	・[] で表すことにより、数字を整理する良さを理解 する。 ・ベン図を用いて表すことにより、視認性が増すこと を理解する。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリン トへの取り組み
7	定期試験② 令和7年 7月9日—7月11日					
7 9 10	15	三角形と比 三角形の外心・内心・ 重心 三角形の比の定理 空間における2直線 ・2平面の関係 直線と平面の関係	・相似の考え方をを用いて、角の二等分線の性 質が理解できる。 ・三角形の3心の概念を理解できる。 ・チェバ・メネラウスの定理を用いて、計算す ることができる。 ・空間における直線や平面の関係をイメ ジすることができるようになる。	・相似の基本的な計算の仕方をおさらいし、問題に 活用していく。 ・三角形の3心の存在や位置関係についてまとめ る。 ・三角形の3心の性質を用いて、角度や辺の長さ を求める。 ・実際に直線と平面の関係などを見ることで理解し、 位置関係をまとめる。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリン トへの取り組み
10	定期試験③ 令和7年 10月20日—10月22日					
10 11	6	2つの円 作図の方法の考察	・2つの位置関係を半径と中心間の距離より 推察することができるようになる。 ・作図の仕方を考察することができるように なる。	・2つの円の関係性についてまとめ、図を用いて理解 し、線分の長さなどを求める。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリン トへの取り組み
11 12	6	データの散らばり データの相関	・データの散らばりに関する用語の意味を理 解し、その計算式を利用することができるよ うになる。 ・データの相関関係を散布図などから読み取 り、相関係数を求めることができるように なる。	・変量、偏差、分散、標準偏差、共分散の定義を確 認し、実際に計算する。 ・相関係数の計算式とその意味を考え、2つの変 量の相関関係や因果関係を調べる。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリン トへの取り組み
12	定期試験④ 令和7年 12月10日—12月12日					
1 2	12	データの分析を利用 した問題解決 仮説検定の考え方	・PPDACサイクルについて理解し、問題解 決に利用できるようになる。 ・仮説検定の考え方を理解し、主張の妥当性 について結論付けられるようになる。	・目的に応じて、整理したデータをもとに図やグラフを 作成したり特徴や傾向を見出したりすることで分析 結果から結論を導き出す。 ・有意水準を設定し、その主張が正しいかを計算に よって判断する。	・講義 ・演習	・小テスト、再テスト ・問題集や課題プリン トへの取り組み
3	定期試験⑤ 令和8年 3月4日—3月6日					